

受験生の皆さんへ

『農村地域を活性化する方法を学ぶ』

山形大学農学部食農環境マネジメント学コース 准教授 藤科 智海 (FUJISHINA, Tomoumi)

大学で地域活性化に関する基礎知識の習得

農村地域が抱えている一般的な問題を把握
農村地域を活性化する方法を学ぶ
6次産業化（農業×加工×販売）の方法を学ぶ



実施に地域に入り、その地域の問題を分析



地域住民と議論しながら、解決策を検討



研究成果として、
対象地域における地域活性化策を提案

内容; 現在、農村地域の多くは、高齢化が進んだり、農業収入が低下したりと非常に厳しい状況にあります。地域を活性化するために、若者のアイデアが必要とされています。

私の研究室では、農村地域を活性化する方法を学びます。まず、大学で、地域活性化を図るための政策や農家の所得を上げる6次産業化の方法などの知識を付けた後、実際にいくつかの地域に入り、地域住民と一緒に、地域を活性化する方法などを考えていきます。

その過程で、自分の研究したいテーマを見つけ、4年次以降は、その研究に没頭してもらいます。例えば、「〇〇地域を活性化するための6次産業化事業の提案」といった研究が考えられます。

専門分野: 農業経済学、フードシステム論
自己紹介: 地域活性化や6次産業化の方法などを一緒に勉強しましょう。
連絡先: Tel & Fax 0235-28-2931
e-mail: fujishina@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

